

一般質問の全文は、町ホームページの「会議録の検索と閲覧」ページでご覧いただけます。(3月定例会の会議録は5月末ごろ掲載の予定です)



疲れて眠る、そんな毎日を過してほしいですね。

かさはらのりひろ
笠原規弘が問う

「小川町教育」の充実と発展を

Q 中一ギャップ解消の為、小学校5・6年生に対し、早期に中学校の部活動見学会を開催してはどうか。

A 学校教育課長 「体験入部を含め、早い段階で中学校の生活を知る機会はある手立てである」と考えます。学校と検討を進めていきます。

Q SNSへの危険な書き込み等のネットパトロールを求めたいが。

A 学校教育課長 必要性は十分に認識していますが、人的・技術的にも学校だけでは対応できない現状にあります。

Q 子供たちを守ることは、大人に課せられた永遠のテーマ。虐待根絶に向けて、当町が「今、すべき行動」とは。

A 子育て支援課長 現在、当町では関係機関と緊密な連携が機能していると思っております。引き続き、「児童福祉法」等の法律や条例に則り、理不尽な要求にも屈しない「チーム子育て支援課」として、ひるむことなく対応していきます。

Q 虐待根絶に向けて、学校及び教育委員会が「今、すべき行動」とは。教育長ほか 根源的には、虐待をしない人をつくるのが重要です。学校は虐待を早期に発見できる立場にいることを認識し、子供たちの様子や行動をみる目を育てなくてはならないと考えます。



寒い冬。厳しい朝練を乗り越え、心も体も大きく大きく成長していきます。



児童虐待防止の第一歩は住民の1899の気づきが大切。

たなかてるこ
田中照子が問う

児童虐待防止対策の取り組みは

Q 虐待防止に有効な「子育て世代包括支援センター」の設置状況は。

A 子育て支援課長 この制度は、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を実施することを目的としています。当町では、コソット「小川町子育て総合センター」で、平成31年4月からの事業展開を予定しています。

Q 児童生徒の学校間における進学・転学に伴う情報共有の現状は。

A 学校教育課長 法令に基づく進学・転学先への指導要録等の文書の送付はもとより、支援が必要な児童生徒に適切な対応を行なう上で、学校間の情報共有は重要であると捉えています。必要に応じ、対面や電話連絡など適切な方法で引き継ぎを行い、学校間の連携を図っています。

和紙体験学習センターの今後は

Q 保存活用と登録有形文化財への登録の考えは。

A にぎわい創出課長 今後、和紙の技術伝承や和紙産業の振興を通じて町の活性化を図る上で建物をどのように保存・活用するのか、文化財保護法に規定された登録有形文化財制度をはじめ、産業・観光、まちづくり等、さまざまな視点から検討し有効活用していきたいと考えています。



昭和期、官民一体となり産業を支えた旧埼玉製紙試験場（和紙体験学習センター）。



年間人口減少数580人、日本一思い切った政策を。

おおとひさかず
大戸久一が問う

町の魅力ある資産の有効活用を

Q 旧上野台中学校の再利用は。また、学校再編になった場合、校舎跡地の利用は。

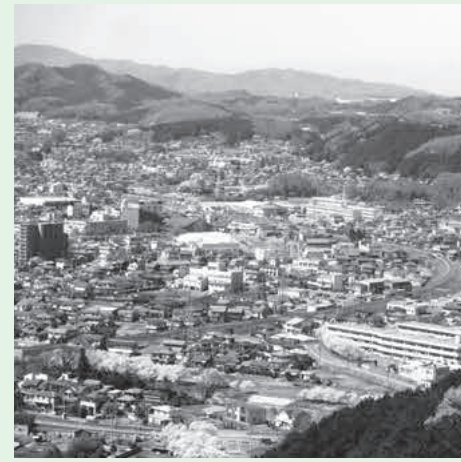
A 政策推進課長 特別養護老人ホームや子育て支援施設等で検討中です。また学校再編後の小中学校利活用は、公共施設や官民連携、民間等による複合施設の利活用など検討していきます。

Q 町内1600戸の空き家、店舗をどのように再活用していくのか。

A 都市政策課長 区長、民生委員等を通じ所有者の本音を探り、町として

Q 第5次総合振興計画の企業誘致予定地、平成18年以前から開発されな

ままの区域が数箇所あるが、「道路つけが悪い」「操業までに時間がかかりすぎる」などの問題を抱えている。当町の人口減少数日本一を重く受けとめ、過去の成功例や失敗例を参考にホンダエンジン工場周辺でのゾーン変更を真剣に検討するべきでは。
A にぎわい創出課長 必要に応じ、企業誘致エリアの変更、見直しを検討していきます。今後も町の土地利用構想に基づき、企業ニーズや地権者の意向が整う場所から優先的に企業誘致に取り組んでいきます。



有効活用を待ち望んでいる町のお宝。

どうなっていくのか不安。でも期待。
(K・Tさん・38歳)

やっとですか？僕たちのときも部活を選べなかった。
(K・Tさん・31歳)

子供が少ないのでしかたないですね。
(H・Aさん・56歳)

Mini Column
オガワマチのことギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「小中学校再編について」